

KENZMEDICO

ワンハンド電子血圧計 KM-370Ⅲ（レジーナⅢ）
取扱説明書

もくじ	2
安全上のご注意	4
製品の概要	
製品の目的	7
特 徴	7
作動原理	8
製品の構成	
製品内容	9
補充品 / 別売品	10
各部の名称および機能	
本 体	11
腕 帯	12
液晶表示器	13
使用前の準備	
電池のセット	14
腕帯の着脱	15
送気球（ゴム球）の着脱	15
バックライトとブザーの設定	16
ブザー音の種類と意味	17
血圧測定の手順	
測定のがれ	18
腕帯の巻きつけ方	19
電源の投入方法及び測定準備状態	20
モードの設定	21
加 圧	21
測定（ノーマル・クイックモード）	22
測定（聴診モード）	23

メモリの確認

メモリ呼び出し方法	24
メモリ消去方法	25

お手入れ

清掃	26
消毒	26

困ったときの対処方法

Q & A	27
エラー表示一覧表	27

精度点検

圧力精度確認機能の設定方法	28
---------------	----

保守点検

使用前の点検	29
年次点検	29
消耗部品	29
廃棄	29
業者による保守点検	30

製品仕様

性能	31
仕様	32
本体図記号の意味	32

EMD について	33
----------	----

保証書	36
-----	----

安全上のご注意

ご使用前に、この[安全上のご注意]をよくお読みいただき、正しくお使いください。ここに示した注意事項は、本品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害や損害を未然に防止するためのものです。

禁忌・禁止	本品の設計限界または不正使用等、責任範囲を超える対象および使用方法。 (誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します)
注意	本品の使用にあたっての一般的な注意事項。 (誤った取り扱いをすると人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します)

※ 物的損害とは家屋、家財および家畜、ペットに関わる拡大損害を示します。

禁忌・禁止

- 乳幼児および小児または意思表示のできない人には使用しないこと。ケガや事故を起こすおそれがあります。
- MRI 検査をおこなう際は本品を検査室に持ち込まないこと。MR 装置への吸着や、熱傷等のおそれがあります。
- 高圧酸素患者治療装置に本品を持ち込まないこと。誤動作や破損、爆発のおそれがあります。
- 自身で測る場合、測定結果の自己判断、治療はしないこと。医師の指導にもとづいて測定し、診断を受け、薬剤の服用も医師の指示に従ってください。
- 傷など未治癒の腕に腕帯を巻かないこと。症状を悪化させるおそれがあります。
- 点滴静脈注射や輸血をおこなっている腕に腕帯を巻かないこと。ケガや事故を起こすおそれがあります。
- 可燃性ガスおよび支燃性ガスの近くでは使用しないこと。発火、引火のおそれがあります。
- 耐用期間を超えて使用しないこと。正しく測定できないおそれがあります。本品の耐用期間は5年あるいは30,000回です。

注 意

- 電磁波を発生する機器（電子レンジ／電磁調理器など）の近くでは使用しないこと。誤動作や故障の原因になります。
- 電波を発生する機器（携帯電話／PHSなど）は、本品から30cm以上離して使用すること。誤動作や故障の原因になります。
- 下記の医用電子機器との併用に注意すること。併用にあたっては医師の指導に従ってください。誤動作を招くおそれがあります。
 - ・ ペースメーカ、植込み型除細動器などの電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器
 - ・ 心電計などの装着形の医用電子機器
 - ・ 腕帯を巻いた側の腕や手に装着した医療機器
 - ・ 電気メスなどの電気手術器
- 血圧測定のため以外には使用しないこと。また、上腕以外に腕帯を巻かないこと。故障や事故の原因になります。
- 救急搬送中の患者の血圧測定に使用しないこと。誤動作や故障の原因になります。
- 必要以上の頻度で測定をおこなわないこと。血流障害を起こす可能性があります。
- 本品には電池や小さな部品が含まれているので、お子様だけで使わせたり乳幼児やペットの届く所に保管しないこと。けがや誤飲のおそれがあります。
- エアーチューブやコードによる窒息を避けるため、お子様の手の届くところに本品を保管したり、エアーチューブやコードを首に掛けたりしないこと。エアーチューブやコードによる窒息のおそれがあります。
- 次のような場所では本品を使用しないこと。誤動作や故障の原因になります。
 - ・ 直射日光のあたる場所
 - ・ 温度差の激しい場所や高温多湿な場所
 - ・ ほこりの多い場所
- 落としたり、強い衝撃を与えないこと。誤動作や故障の原因になります。
- 使用前に上腕の周囲を測り、適用範囲内であることを確認すること。適用範囲外で使用すると、誤差の原因になります。
- 付属品は指定されたものを使うこと。指定外のものを用いると、誤差の原因になります。
- 次の状態や症状または過去に処置を受けたことのある方は医師に相談のうえ使用すること。

・ 妊娠中毒症を含む妊婦	・ 糖尿病	・ 肝臓病	・ 動脈硬化
・ 高血圧症	・ 不整脈	・ 乳腺切除した方	・ 血管内挿管
・ 血管内治療	・ 動静脈（A-V）シャント		・ リンパ節の除去
- 使用中は機器全般および患者に異常がないことを常に確認すること。異常が発生した場合には機器を取り外すなど、患者に安全な状態で機器の作動を停止してください。

注 意

- 本品の腕帯に使用している天然ゴムにより、かゆみ、発赤、蕁麻疹、むくみ、発熱、呼吸困難、喘息様症状、血圧低下、ショックなどのアレルギー性症状を起こした場合には、直ちに使用中止し、適切な措置を施すこと。体調不良を起こすおそれがあります。
- 血圧は以下の要因で変動するので注意すること。
 - ・時刻や季節
 - ・飲食（アルコールを含む）
 - ・入浴
 - ・その他の環境（病院での受診中など）
 - ・測定姿勢（心臓に対する腕帯の高さを含む）
 - ・高血圧治療などの薬剤
 - ・喫煙
 - ・尿意
 - ・身体活動
 - ・会話
 - ・精神的緊張
- エアーチューブが折れ曲がったりねじれたりしていないことを確認すること。圧力がかかったまま腕帯から空気が抜けず、血流障害を起こすおそれがあります。
- 腕帯は測定部位に正しく装着し、測定中は心臓の高さに保つこと。誤った装着や高さのズレは誤差の原因になります。
- 測定を中断する必要がある場合は、「電源」スイッチを押して測定を中止すること。測定中に「電源」スイッチを押すと、腕帯から空気が急速に抜けて測定が中止されます。
- 腕帯の締め付けにより、一過性の内出血が発生し赤みが残る可能性があるため、痛みを感じた場合には「電源」スイッチを押して測定を中止すること。測定中に「電源」スイッチを押すと、腕帯から空気が急速に抜けて測定が中止されます。
- 電池交換などで本品の電池または電池端子にふれているときは、他の人にふれないこと。
- 種類の違う電池や新しい電池と古い電池を同時に使わないこと。発熱などにより故障の原因になります。
- 使用前、使用後には保守点検をおこなうこと。
- 本品を長期間使用しないときには、電池を取り外しておくこと。電池を長期間入れたままにすると電池の液もれが起こり、本品を傷める原因になります。
- 本品の上に重い物をのせたり、エアーチューブを縛ったりしないこと。故障の原因になります。
- 分解・修理・改造はおこなわないこと。誤動作や故障の原因になります。
- 汚れていたり濡れていないかを確認すること。本品の清掃方法は、26 ページを参照してください。
- 動かなくなったり、異常がある場合は、直ちに使用中止すること。お買い上げの販売店までご連絡ください。
- 本品および使用済みの電池を廃棄する場合は、各自治体の規則に従い適切に処分すること。

製品の概要

■製品の目的

ワンハンド電子血圧計 KM-370Ⅲは、非観血式で血圧を測定するための機器です。

■特 徴

ハイブリッド センサー方式	マイクロフォン及び圧力センサーによりリパロッチ・コロトコフ法及び ／またはオシロメトリック法により血圧を測定します。	
脈波レベル表示	測定中に脈拍の強弱を視覚的に確認できます。	
測 定 モ ー ド	ノーマル	リパロッチ・コロトコフ法をベースにしてオシロメトリック法との併用 で測定します。
	クイック	オシロメトリック法により測定します。 ノーマルモードよりスピーディーな測定が可能です。
	聴診	聴診器による聴診法により血圧測定を行います。 「メモリ」スイッチを使用して、最高及び最低血圧値を記録することが できます（ホールド機能）。
バックライト 設定機能	<ul style="list-style-type: none"> ・標準モード（全灯） 電源を入れると液晶表示器のバックライトが点灯します。 無操作・無加圧状態が30秒間継続した場合、バックライトが自動 的に消灯します。 「電源」スイッチ以外の本体操作または加圧等を行うことで再点灯し ます。 ・省エネモード（半灯） 標準モードよりもバックライトの明るさが暗くなります。 無操作・無加圧状態が30秒間継続した場合、バックライトが自動 的に消灯します。 「電源」スイッチ以外の本体操作または加圧等を行うことで再点灯し ます。 ・消灯モード バックライトが点灯しないモードです。 	
メモリ機能 (最大8件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ノーマルまたはクイックモードの場合 測定結果を自動的に記録します。 ・聴診モードの場合 「メモリ」スイッチを押す事で現在表示されている圧力値を記録します。 	
オートパワーオフ 機能	キー操作または加圧等を行わないと約3分で自動的に電源が切れます (電源切れ忘れ防止)。	
ワンチューブ構造	センサーを本体内部に内蔵したことによりチューブが1本で取扱いが容 易です。	

■ 作動原理

動脈が腕帯の圧力で圧迫され、減圧過程で、動脈に血流が再開し、腕帯内に脈拍と同期してコトコフ音（以下「K音」という。）が発生する。

最初のK音の発生点（第1点）の圧力を最高血圧とし、腕帯圧が動脈圧力を阻害しないでK音の消失する点（第4点または第5点）の圧力を最低血圧とする（リパロッチ・コトコフ法）。K音は、本体に内蔵されたマイクロフォンにより検出され、マイクロコンピュータで処理し、最高血圧及び最低血圧値を決定する。

上記の過程で、動脈が腕帯の圧力で圧迫されると、動脈が心拍に合わせて脈動を起し、それが腕帯圧上の脈動となる。

この脈動の大きさは、血圧と腕帯圧力との大小関係に応じて変化する。

オシロメトリック法は、腕帯圧力を徐々に変化させた時に見られる、この脈動の大きさの変化パターンをもとに最高血圧及び最低血圧値を決定する。

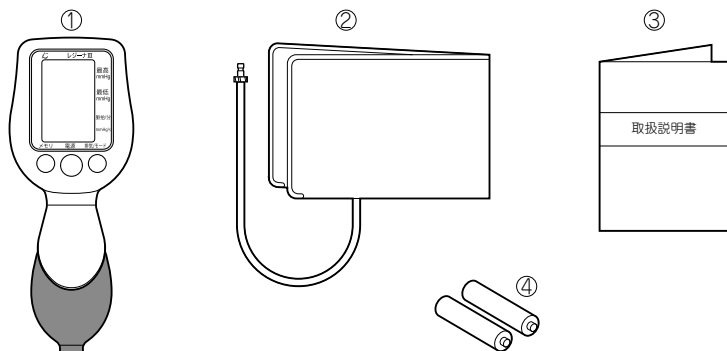
ノーマルモードでは、リパロッチ・コトコフ法およびオシロメトリック法の併用で測定し、リパロッチ・コトコフ法でK音信号が所定値より小さく不明瞭だった場合、オシロメトリック法により血圧値を決定する。

クイックモードでは、オシロメトリック法により血圧値を決定する。

聴診モードでは、聴診法を用いて、加圧後、腕帯圧力を徐々に変化させた時に発生する血管音であるK音を検出して血圧を測定する。

製品の構成

■製品内容



	品名	数量
①	KM-370Ⅲ本体	1
②	腕帯（ウォットソン）肘方にはコネクタープラグ（洗浄用キャップ）1ヶ入	1
③	取扱説明書（保証書付）	1
④	単4形アルカリ乾電池 （お試用ですので寿命が短いことがあります。）	2

製品の構成

■ 補充品 / 別売品

	品名	品番	適用サイズ
1	ウォッシュブルカフ 1TUB BC530 プラグ付 S サイズ	0370B702	14 ~ 25cm
2	ウォッシュブルカフ 1TUB BC530 プラグ付 M サイズ	0370B703	24 ~ 40cm
3	ウォッシュブルカフ 1TUB BC530 プラグ付 L サイズ	0370B704	32 ~ 50cm
4	ノンラテチューブ BC530 プラグ付 (1本入り)	0370B731	
5	コネクタープラグ (洗浄用キャップ)(2ヶ入り)	0370B650	
6	ナイロンカフブラダーセット 1TUB BC530 プラグ付 S サイズ	0370B707	18 ~ 28cm
7	ナイロンカフブラダーセット 1TUB BC530 プラグ付 M サイズ	0370B708	24 ~ 40cm
8	ナイロンカフブラダーセット 1TUB BC530 プラグ付 L サイズ	0370B709	32 ~ 50cm
9	ブラダー 1TUB BC530 プラグ付 S サイズ	0370B722	
10	ブラダー 1TUB BC530 プラグ付 M サイズ	0370B723	
11	ブラダー 1TUB BC530 プラグ付 L サイズ	0370B724	
12	ナイロンカフ 標準型 ブルー S サイズ	1099F521	
13	ナイロンカフ 標準型 ブルー M サイズ	1099F522	
14	ナイロンカフ 標準型 ブルー L サイズ	1099F523	
15	ナイロンカフ 標準型 レッド M サイズ	1099D924	
16	ナイロンカフ 標準型 グリーン M サイズ	1099D925	
17	ナイロンカフ 標準型 グレー M サイズ	1099D926	
18	ナイロンカフ 標準型 ティール M サイズ	1099D927	
19	ナイロンカフ 標準型 ピンク M サイズ	1099D928	
20	ナイロンカフ 標準型 ライトブルー M サイズ	1099D929	
21	ナイロンカフ 標準型 マゼンダ M サイズ	1099D930	
22	SPU カフ 1TUB BC530 プラグ付 S サイズ (10枚入り)	0370B717	14 ~ 25cm
23	SPU カフ 1TUB BC530 プラグ付 M サイズ (10枚入り)	0370B718	24 ~ 40cm
24	SPU カフ 1TUB BC530 プラグ付 L サイズ (10枚入り)	0370B719	32 ~ 50cm
25	KM-370 用ゴム球バルブセット	0370B511	

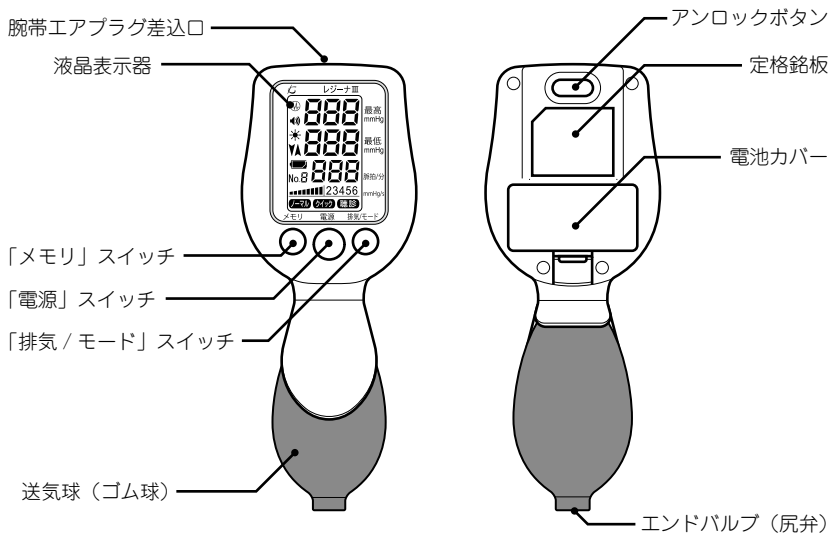


注意

ナイロンカフ ブラダーセット及びブラダーには、天然ゴムが使用されております。天然ゴムは、かゆみ・発赤蕁麻疹・むくみ・発熱・呼吸困難・喘息様症状・血圧低下・ショックなどのアレルギー性症状をまれに起こします。このような症状を起こした場合には、直ちに使用を中止し、医師に相談してください。

各部の名称および機能

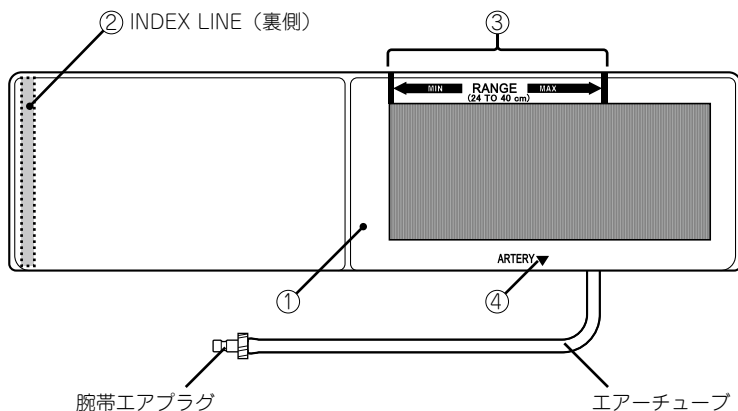
■本 体



名 称	解 説
液晶表示器	現在の設定状態及び測定した圧力値等の表示を行う液晶タイプの表示器です。詳細は「各部の名称及び機能 ■液晶表示器」(13頁)参照。
「メモリ」スイッチ	記録した測定結果を呼び出すためのスイッチです。スイッチを押すごとに1から順番に最大8件のデータを呼び出します。 聴診モードの測定中 においては、現在表示されている圧力値を記録するのに使います。詳細は「 血圧測定の手順 ■測定(聴診モード) 」(23頁)参照。
「排気 / モード」スイッチ	3種類ある測定モードを切り換えるためのスイッチです。電源投入時は電源を切る前のモードに設定されています。
「電源」スイッチ	電源の入・切スイッチです。測定中に「電源」スイッチを押すと電源が切れ、同時に急速排気を行います。
アンロックボタン	「腕帯エアプラグ差込口」から「腕帯エアプラグ」を取り外す際に、ロックを解除するためのスイッチです。

各部の名称及び機能

■腕 帯 (図は「ウォッシュابلカフ 1TUB BC530 プラグ付 M サイズ」の例)



	名 称	解 説
①	空気袋 (ブラダー)	送気球からの空気により膨らみ動脈を圧迫します。 (※ウォッシュابلカフは一体構造)
②	INDEX LINE	腕帯を腕に巻いたときに、② INDEX LINE が③ RANGE の範囲内 であれば適切であることを示します。
③	RANGE	
④	ARTERY	動脈位置を合わせるための記号です。

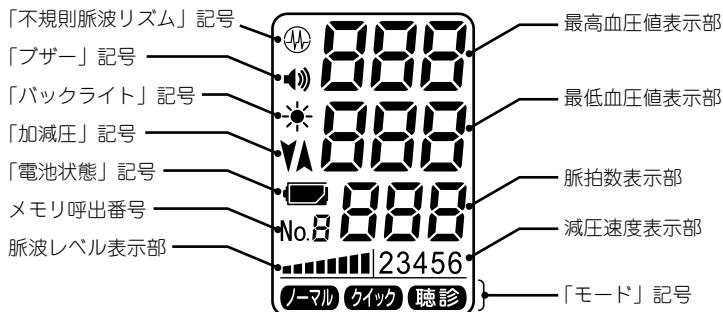














注意

- エアチューブの付け根及びチューブ自体を極端に折り曲げた状態で長期間保管・放置しないでください。エアー漏れの原因になります。
- 腕帯本体を鋭角な硬いものにぶついたり又はナイフなどの刃物で傷つけないでください。空気袋が傷ついてエアー漏れの原因になります。
- 測定するときは、RANGE と INDEX LINE の位置関係を必ず確認してください。正確な測定ができないことがあります。

各部の名称及び機能

■液晶表示器



名 称	解 説	出荷時
「不規則脈波リズム」記号	測定中に検出した脈波の間隔が一定でなかった場合に表示します。  点灯：一定でない脈波の間隔が大きい場合  点滅：一定でない脈波の間隔が細かい場合	—
「ブザー」記号	この記号が点灯しているとブザー音が発生することを示します。 詳細は「ブザー音の種類と意味」(17頁)参照。	
「バックライト」記号	 点灯：標準モード(全灯)  点灯：省エネモード(半灯)  消灯：消灯モード	
「加減圧」記号	 加圧状態であることを示します。  減圧して‘0’調整中であることを示します。*1	—
「電池状態」記号	 点灯：良好  点灯：交換時期(使用は可能ですが交換をお勧めします)  点滅：電池交換(使用できませんので交換してください)	—
メモリ呼出番号	「メモリ」スイッチで呼び出した測定データ番号を表示します。 (最も新しいデータがNo.1)	—
脈波レベル表示部	脈波に同調して脈波の強弱をバーグラフで表示します。	—
減圧速度表示部	聴診モード において自動的に減圧する減圧速度を表示します。	3
「モード」記号	3種類ある測定モードのうち、現在設定されている測定モードを表示します。	ノーマル
脈拍数表示部	測定した脈拍数を表示します。 (※加圧及び減圧中は圧力値を表示します)	—
最高血圧値表示部	測定した最高血圧値を表示します。	—
最低血圧値表示部	測定した最低血圧値を表示します。	—

*1 測定をおこなう場所の大気圧において圧力値が0mmHgになるように、圧力値の表示を調整します。

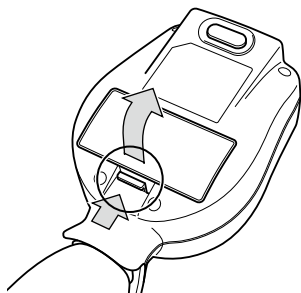
使用前の準備

■電池のセット

- ① 電池カバーをはずす。

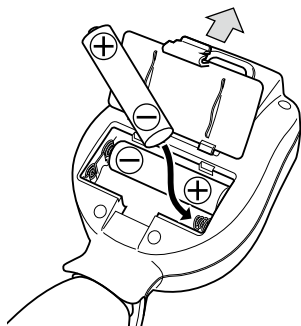
電池カバーのフックを押し上げながら取りはずします。

電池カバーの着脱は、本体を片手で抑えながら、もう片方の手で行ってください。



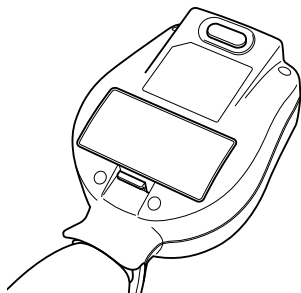
- ② 極性に注意して電池をセットする。

スプリング電極（-）に電池の（-）側を押し当てその状態のまま上からはめ込むようにセットします。



- ③ 電池カバーを取り付ける。

電池カバーのツメを本体側の溝に差し込んだ状態で、カバーを本体の上に乗せ、「パチン」と音がするまで押しします。



使用前の準備

■腕帯の着脱

・装着

本体をしっかりと持ち「腕帯エアプラグ」を本体の「腕帯エアプラグ差込口」に差し込みます。カチッと音がなって「腕帯エアプラグ」が固定されるまでしっかりと差し込んでください。

・取り外し

本体の背面の「アンロックボタン」を押しながら「腕帯エアプラグ」を外します。

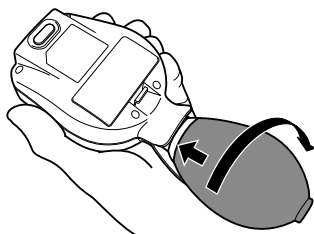


必ず腕帯エアプラグ部分を保持して抜き差ししてください。
故障の原因になります。

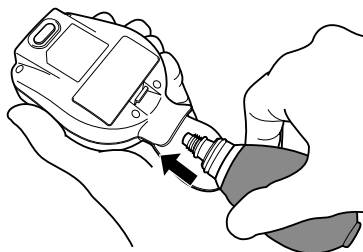
■送気球（ゴム球）の着脱

・装着

- ① 本体を片手で持ち、送気球のネジ部を本体ネジ部に差し込みます。

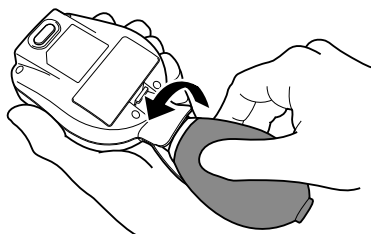


- ② 最初は軽く押し込みながら時計方向にネジ込みます。回転しなくなるまでしっかりとネジ込んでください。（ストッパーがあります。）



・取り外し

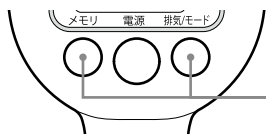
送気球のなるべく根元の方をつまむように持ち、反時計方向に回して外します。



バックライトとブザーの設定

※スイッチ操作は、【測定準備状態】においてのみ可能です。

詳細は「血圧測定の手順 ■電源の投入方法及び測定準備状態」（20頁）参照。



●「メモリ」スイッチを押したまま、「排気/モード」スイッチを押して離します。



※「排気/モード」スイッチを押すたびに次のような設定の組み合わせに変わります。表示を確認しながら設定してください。

順番	ブザー記号	バックライト記号	ブザー	バックライト	備考
0			オン	全灯	標準モード
1				半灯	省エネモード
2				消灯	消灯モード
3			オフ	全灯	標準モード
4				半灯	省エネモード
5				消灯	消灯モード

※出荷時の状態

※ブザー：オフの場合は、エラー等でブザー音は発生しません。

※記号の灰色部分は実際には表示されません。

ブザー音の種類と意味

ブザー音の種類		意 味
1	単発音3回(ピ°ッ°ッ°ッ)	‘0’調整が終わり測定準備ができたことを意味します。
2	長い連続音(ピ° ----)	測定が終了し、測定結果を表示したときに連動して発生します。
3	短い連続音(ピ° --)	<ul style="list-style-type: none">• 加圧中に於いて加圧不足と判断された場合に“UP”表示と連動し発生し、再加圧を促します。• 加圧値が120mmHg未満でも発生します。• 測定時にエラーが発生したことを意味します。

※2、3は、**聴診モード**では無効です。

血圧測定の手順

■測定のがれ

血圧の測定は次のような手順で実施します。



使用前の準備に従って腕帯及び送気球がしっかり取り付けられているか確認してください。詳細は「**使用前の準備**」(15頁)参照。

1. 腕帯の巻きつけ

詳細は「**■腕帯の巻きつけ方**」(19頁)参照。

2. 電源の投入

詳細は「**■電源の投入方法及び測定準備状態**」(20頁)参照。

3. モードの選択

詳細は「**■モードの設定**」(21頁)参照。
(必要に応じてモード選択)

4. 加 圧

詳細は「**■加 圧**」(21頁)参照。

5. 測定

ノーマル・
クイックモード

加圧操作が終わると自動的に測定を開始。
詳細は「**■測定 (ノーマル・クイックモード)**」(22頁)参照。

聴診
モード

加圧操作が終わると自動排気して圧力測定を開始。
詳細は「**■測定 (聴診モード)**」(23頁)参照。

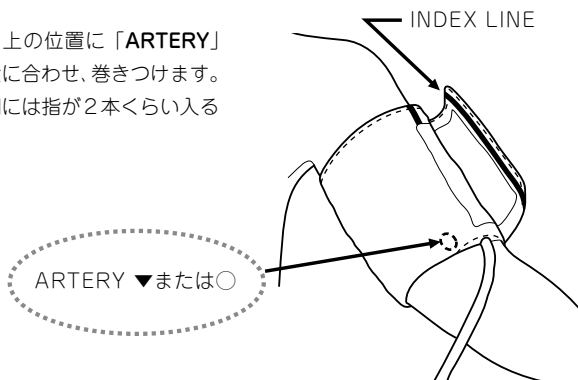
6. かたづけ

使用後は清掃して保管。
詳細は「**■お手入れ**」(26頁)参照。

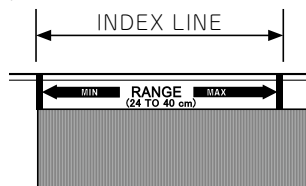
血圧測定の手順

■腕帯の巻きつけ方

- ① 厚手の衣類は脱いで上腕の素肌が露出するようにし、手のひらを上に向けて軽く肘を折るくらいの状態にします。
- ② 腕帯を肘から2～3 cm 上の位置に「ARTERY」記号を上腕部の動脈位置に合わせ、巻きつけます。このときに腕と腕帯の間には指が2本くらい入る隙間を作ります。



- ③ INDEX LINE が RANGE 範囲に入っているか確認します。入っていない場合はサイズが適切ではないので他の腕帯に交換してください。



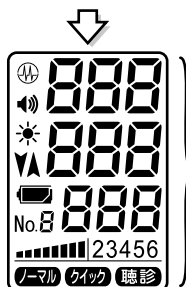
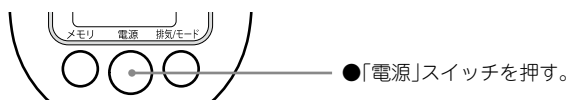
(図は「ウォッシュブルカフ 1TUB BC530 プラグ付 Mサイズ」の例)



- 腕帯は腕の太さのサイズに合った適切なものを使用してください。
- 素肌に直接腕帯を巻きつけてください。
- 腕が水や汗等で濡れている場合は、必ずよく拭き取り乾いた状態にしてからご使用ください。
- 腕は安定するように安定した台などの上に乗せた状態で測定してください。
- 左右の腕で測定差がでることがあります。いつも同じ腕で測定するようにしてください。
- 腕帯は心臓と同じ高さになるくらいの位置にしてください。
- 足を組まずに両足を床に置いた状態で椅子に座り、背もたれにもたれてリラックスしてください。

血圧測定の手順

■電源の投入方法及び測定準備状態

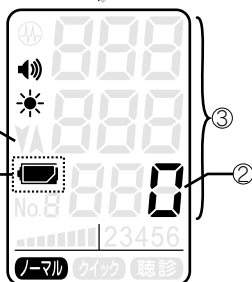


全ての液晶が表示されたか確認します。



表示されない場合は故障です。
使用を中止して最寄の販売店にご連絡ください。

‘0’ 調整を開始
(減圧記号▼が点滅)



測定準備状態には次の2形態があります。

- (1) 電源投入直後 (左図の状態)
 - ① 減圧記号：消灯
 - ② 脈拍数表示部：0 (mmHg)
- (2) 測定終了直後
 - ① 減圧記号：消灯
 - ③ には測定値が表示されている状態。


【測定準備状態】



点灯：交換時期 (使用は可能ですが交換をお勧めします)



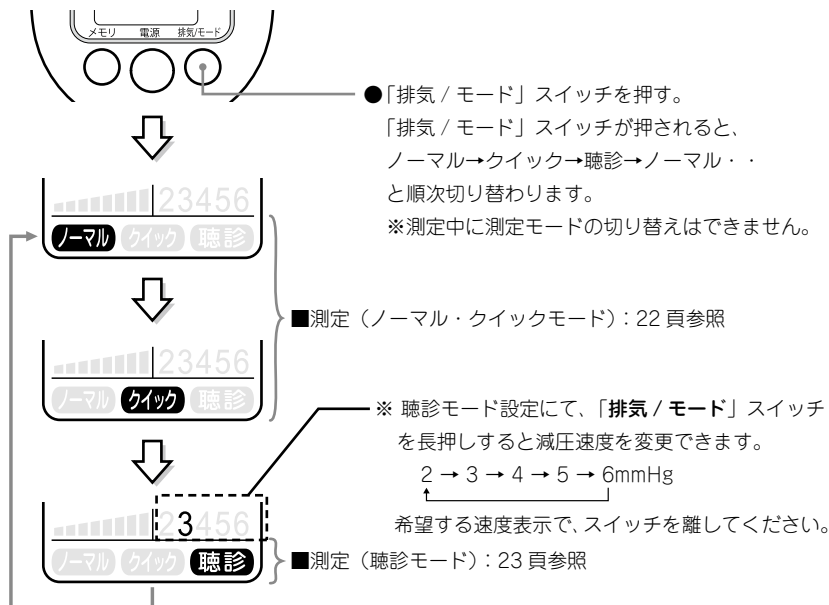
点滅：交 換 (使用できませんので交換してください)

電源を入れると一時的に回復 () することがあります。

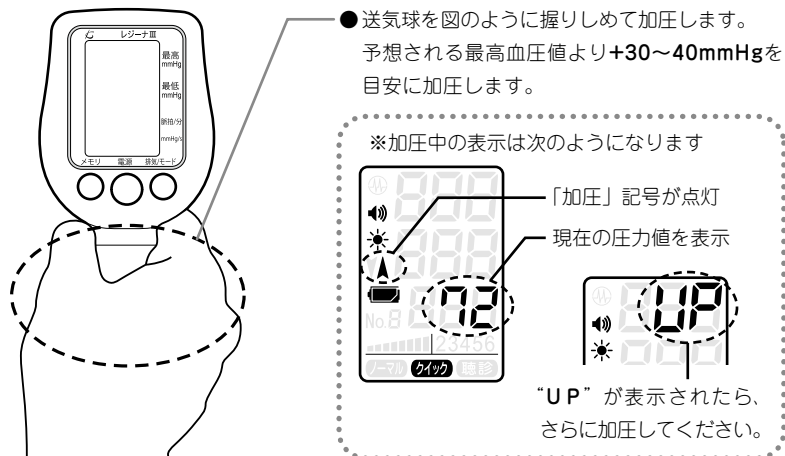
これは電池固有の特性で故障ではありません。お早めに交換してください。

血圧測定の手順

■モードの設定



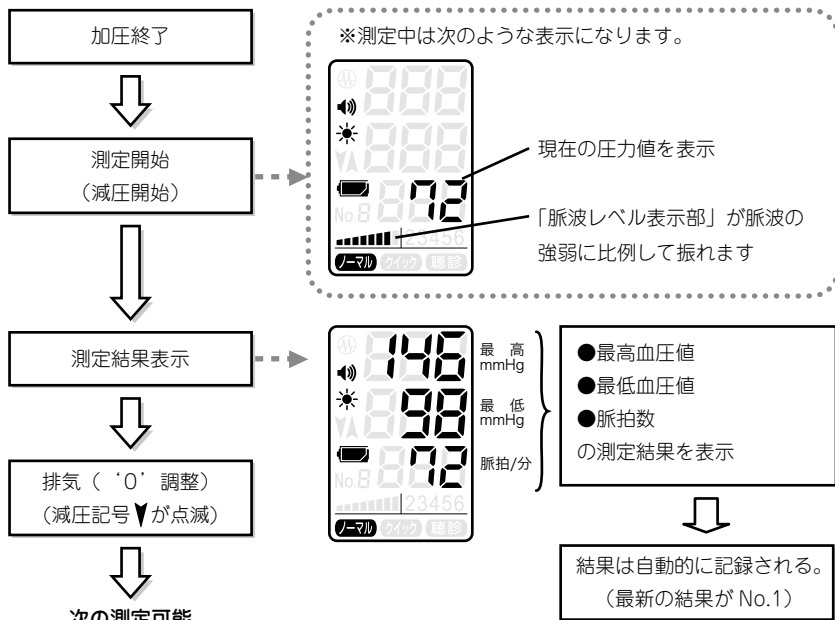
■加 圧



血圧測定の手順

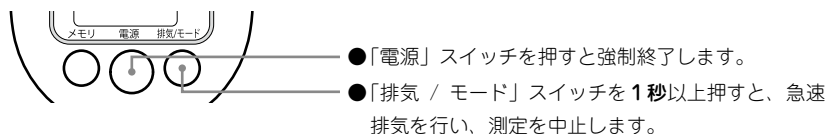
■測定（ノーマル・クイックモード）

加圧操作が終わると自動的に測定を開始し、結果を表示します。



測定中に検出した脈波の間隔が一定でなかったときには、「不規則脈波リズム」記号を表示します。安静状態で測定をしても常に「不規則脈波リズム」記号が表示される場合があります。ただし、そのようなときでも、ご自分で判断はせずに、医師にご相談ください。

※測定中に操作可能なスイッチ



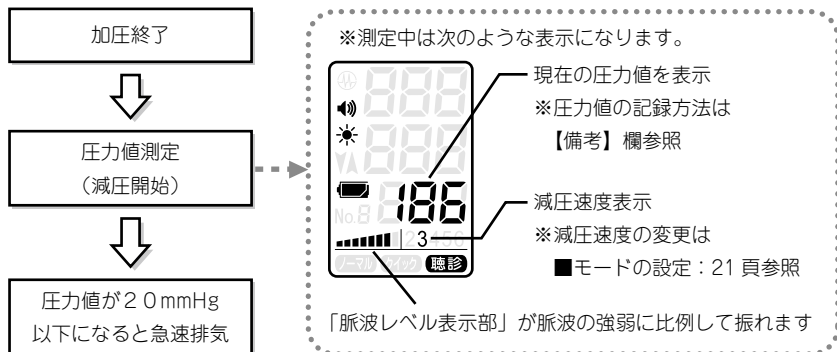
注意

測定が終了したら、必ず測定結果は1回測定毎に記入して記録することをお勧めします。まとめて記入する場合は、誤記入の恐れがあります。

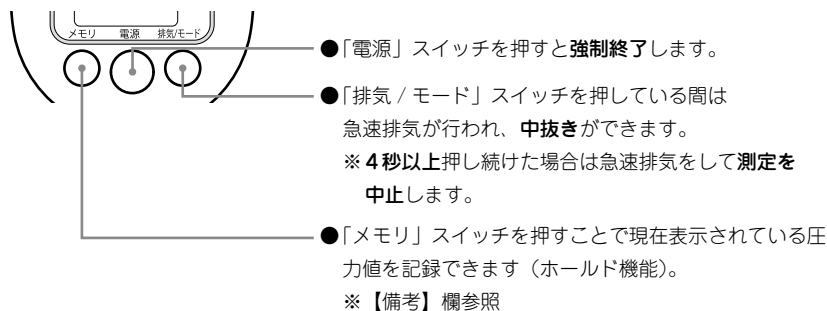
血圧測定の手順

■測定（聴診モード）

加圧操作が終わると設定された減圧速度で減圧が始まり、圧力値を表示します。



※測定中に操作可能なスイッチ



【備考】

- 最高及び最低血圧値を記録するには、「メモリ」スイッチをそれぞれ1回押します。スイッチが押されたタイミングで圧力値が記録されます（ホールド機能）。
※最高及び最低血圧が決定するとメモリに記憶されます（最大8件分）。
- 3回以上押すと最後の2回が記録されます。
- 測定した脈拍数も同時に記録されます。



注意

測定が終了したら、必ず測定結果は1回測定毎に記入して記録することをお勧めします。まとめて記入する場合は、誤記入の恐れがあります。

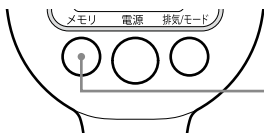
メモリの確認

ここでは、メモリの呼び出しと消去方法を説明します。

※スイッチ操作は、測定準備状態においてのみ可能です。

詳細は「**血圧測定の手順** ■**電源の投入方法及び測定準備状態**」(20頁) 参照。

■メモリ呼び出し方法



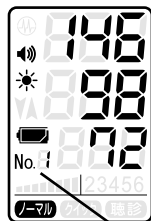
- 「メモリ」スイッチを押す。

※血圧測定後の測定結果が表示されている場合は、一度「メモリ」スイッチを押して脈拍数表示部に「0」を表示させてから、メモリ呼び出し操作を行ってください。「メモリ」スイッチを押すたびに最新の測定結果から、古い測定結果へ1つずつ違って表示されます。最も古い測定結果を表示した後、測定準備状態に戻ります。

(メモリ表示画面)



⋮



最高
mmHg
最低
mmHg
脈拍/分

メモリ呼出番号

メモリ呼出番号は、No.1が最新の測定結果をあらわし、番号が大きいほど測定結果は古くなります。

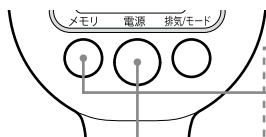
メモリ呼出番号：最大 8 件

メモリの確認

■メモリ消去方法

最初に「メモリ」スイッチを押し、No.1の測定値を呼び出します。

●特定のデータだけを消去する場合



- ① 「メモリ」スイッチを押し、消去したいデータを呼び出します。
- ② 「メモリ」スイッチを押したままで、「電源」スイッチを押して離します。（※表示されているデータが消去されます。）
- ③ 必要に応じて次のデータを消去します。

※ 1件消去すると、そのメモリ No. には古いデータが繰り上がります。

●全データを消去する場合

「メモリ」スイッチを押したまま、「電源」スイッチを長押しします（4秒以上）。




注意

全データを消去する場合は十分に注意してください。データの復旧はできません。

お手入れ

ご使用後は清掃を行い正しく保管してください。汚れたままで放置すると不衛生で故障の原因にもなります。清掃・消毒を行う際は、下記に示した内容に注意して作業を行ってください。

 禁止	<ul style="list-style-type: none">・ ガス滅菌等による消毒は絶対に行わないでください。・ ウォッシュャブルカフ以外は絶対に水洗いしないでください。・ 活性ガス（消毒用ガス等も含む）環境や高温・多湿環境等で絶対に使用・放置しないでください。・ シンナー等の有機溶剤、ポピドンヨードでは絶対に拭かないでください。・ ドライヤー等の熱風で絶対に乾燥しないでください。
---	---


■清 掃

- ・ 本体（送気球を含む）及び腕帯が汚れたときは、ガーゼ等の柔らかい布を水またはぬるま湯に浸し、よく絞ってから拭き取ってください。
- ・ 本体内部に、水や消毒液が浸入しないように水気をよく切ってから清掃してください。
- ・ 乾燥は乾いた柔らかい布で水気をよく拭き取り、自然乾燥してください。
- ・ 「消毒」は下記に示す消毒液を使用して清拭してください。

■消 毒

清拭に使用可能な消毒液の種類は以下のとおりです。

本体	腕帯 (SPUカフは除く)	成分名
○	○	次亜塩素酸ナトリウム
○	○	塩化ベンザルコニウム
○	○	クロルヘキシジングルコン酸塩
○	○	イソプロパノール (70vol%)
○	○	消毒用エタノール (76.9 ~ 81.4vol%)
○	×	第4級アンモニウム塩

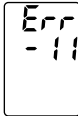
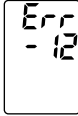
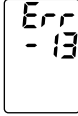

 注意	<ul style="list-style-type: none">・ 消毒液の使用にあたっては、各消毒液の添付文書（希釈濃度等）に従ってください。・ 上記成分を含む全ての消毒液に対して対応することを保証するものではありません。消毒液により添加される成分、分量が異なりますので、清拭部に異常がありましたらご使用をお控えください。・ 次亜塩素酸ナトリウムは、本体及びウォッシュャブルカフのみにご使用ください。
---	---

困ったときの対処方法

■ Q & A

症 状	考えられる原因	対処方法
電源が入らない	電池が入っていない	電池を入れてください。
	電池の極性（＋）が間違っている	電池を正しくセットしてください。
	電池が消耗している 「電池状態」記号が点滅（13 頁参照）	新品の電池と 2 本同時に交換してください。
加圧できない	腕帯エアプラグがしっかり接続されていない	使用前の準備 （15 頁参照）を参考にしてしっかり接続されているか確認してください。
	送気球がしっかり接続されていない	
	腕帯またはチューブの傷で空気が漏れている	新品の腕帯と交換してください。
	強制排気中や“0”調整中に加圧している	測定準備状態が確認してください。（20 頁参照）
電池の消耗が早い	電池の使用期限が過ぎている	2 本一緒に新品の電池と交換してください。

■ エラー表示一覧表

表 示	原 因	対処方法
	再加圧が規定時間内に開始されなかった。 再加圧が開始される前に測定終了になった。	再加圧要求の“UP”が表示されたらすぐにゴム球を押して再加圧してください。
	腕帯の巻き方が緩い。 測定時に体動があった。	腕帯の取り付け方などを点検したのちに再度測定を行ってください。 測定中は安静にしてください。
	測定結果が測定範囲を超えた。	腕帯の取り付け方などを点検したのちに再度測定を行ってください。 毎回表示される場合は、医師にご相談ください。
	300mmHg 以上加圧された事によるエラー	加圧に注意しながら再度測定を実施してください。

以上の方法でも、測定が正常にできないときは、お買い上げの販売店までご連絡ください。

■ 圧力精度確認機能の設定方法



注意

圧力精度確認機能を行うには「定期点検キット」及び「基準圧力計」が必要です。
「定期点検キット」のご購入は販売店様にお問い合わせください。

圧力精度確認機能は、定期点検の際に圧力精度を確認するために使用します。

設定方法は次のような手順により行います。

- ① 電池が入っていないことを確認します。
- ② 「電源」スイッチを押した状態で保持します。
- ③ 電池をセットします。(■電池のセット：14頁参照)

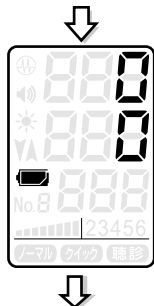


(液晶全表示)



(減圧記号点滅)

- ④ 「電源」スイッチを離します。



最高血圧値及び最低血圧値表示部がそれぞれ '0' と表示されます。

圧力精度の確認

※詳細手順は「定期点検キット」を参照

保守点検

保守点検は製品の精度及び信頼性維持のために定期的に行ってください。

■使用前の点検

次の内容に従って点検を実施してください

点検項目	点検内容
目視点検	1 本体各部の汚れ、キズ、割れはないか
	2 定格銘板の記載内容が確認できるか
	3 腕帯、エアチューブ、送気球等にキズ、汚れ、破損などはないか
機構点検	4 スイッチの動作はスムーズであるか
	5 電池カバーに緩みやガタツキなどはないか
	6 エアチューブの接続にエア漏れなどの問題がないか
	7 送気球に緩みやガタツキはないか
機能点検	8 「電源」スイッチで電源が「入」「切」するか
	9 バックライト「オン」での標準モード及び省エネモードにおいて、電源が「入」後にバックライトが即時点灯するか
	10 電源電圧は十分か（「電池状態」記号の点灯、点滅はないか）
	11 電源が「入」後、数秒で圧力表示は「0」になるか
	12 表示部に欠け、濃淡などの問題はないか
	13 「排気 / モード」スイッチを押すと測定モードは切り替わるか
	14 何も操作しないと約3分で電源が切れるか

■年次点検

1年に一度は定期点検キットを用いて精度点検を実施するか、業者による保守点検を行ってください。

※精度点検を行うには定期点検キットの他に、基準圧力計が必要になります。

■消耗部品

下記の部品は定期的に変換することをお勧めします。

部品名	交換時期
腕帯(SPU カフは除く)	約 1 年
送気球	約 1 年

※別売品のSPU カフは、患者ごとに交換。



注意

本品の指定以外の部品は絶対に使用しないでください。
故障・誤動作の原因になります。

■廃棄

- ・使用済の電池を廃棄する際は、各自自治体の規則に従い適切に処理してください。
- ・本体等は、産業廃棄物取扱許可業者に連絡し処分してください。

保守点検

■業者による保守点検

安全に使用するために1年に一度を目安にサービス業者による保守点検（下表参照）をご依頼ください。（有料）

点検項目	点検内容
目視点検	• 本体各部の汚れ、キズ、割れはないか
	• 定格銘板の記載内容が確認できるか
	• 腕帯、エアチューブ、送気球等にキズ、汚れ、破損などはないか
機構点検	• スイッチの動作はスムーズであるか
	• 電池カバーに緩みやガタツキなどはないか
	• エアチューブの接続にエア漏れなどの問題がないか
	• 送気球に緩みやガタツキはないか
機能点検	• 「電源」スイッチで電源が「入」「切」するか
	• バックライト「オン」での標準モード及び省エネモードにおいて、電源が「入」後にバックライトが即時点灯するか
	• 電源電圧は十分か（「電池状態」記号の点灯、点滅はないか）
	• 電源が「入」後、数秒で圧力表示は「0」になるか
	• 表示部に欠け、濃淡などの問題はないか
	• 「排気 / モード」スイッチを押すと測定モードは切り替わるか
	• 何も操作しないと約3分で電源が切れるか
動作確認試験	• 正常に測定動作が行えるか試験する（定期点検キットなどを使用）
	• 電源電圧確認試験

■性能

測定方法	リバロッチ・コロトコフ法/ オシロメトリック法	
表示	3桁デジタル表示	
圧力表示範囲	3～300mmHg（腕帯圧力）	
血圧測定範囲（ノーマルモード、クイックモード）	50～250mmHg（最高血圧） 40～180mmHg（最低血圧）	
脈拍測定範囲	20～199拍/分	
最大圧力	300mmHg	
メモリ	8回（不揮発性メモリ）	
環境条件による圧力表示誤差	150mmHgを超えない場合は±3mmHg以下、 150mmHgを超える場合は測定値の2%以下	
臨床性能試験による血圧測定の誤差 （ノーマルモード、クイックモード）	聴診に対する平均誤差	±5mmHg以内
	標準偏差	8mmHg以内
脈拍測定精度 （ノーマルモード、クイックモード）	±5%以内	
停止操作	「電源」スイッチを押した後30秒以内に15mmHgまで減圧	
血圧測定の再現性	血圧判定の再現性は3.0mmHg（0.4kPa）以下	
加 圧	手動加圧	
加圧設定値	任意（300mmHg以下）	
減 圧	自動減圧	
減圧速度設定値	ノーマルモード	約3.5mmHg/秒
	クイックモード	4～5mmHg/秒
	聴診モード	約3mmHg/秒（標準） （2、3、4、5及び6から任意に選択可能）
排 気	自動排気又は「排気/モード」スイッチ及び「電源」スイッチによる排気	
エラー及び安全装置	電池電圧低下警告表示 異常加圧エラー表示	
付加機能	マナーモード設定機能 バックライト点灯機能 測定値自動記録機能（最大8件） メモリ消去機能 オートパワーオフ機能	

製品仕様

仕様

電源	単4形アルカリ乾電池×2
電気的定格	DC3V/0.7W (バックライト点灯時)
使用環境	温度：10℃～40℃ 湿度：15～85% RH (結露なきこと)
輸送・保管環境	温度：-20℃～60℃ 湿度：95% RH 以下 (結露なきこと)
測定可能上腕周囲	14～50cm (使用する腕帯サイズによる)
本体寸法	約64.6(W)×約165.7(D)×約41.6(H) 単位：mm
本体重量	約137g (電池は含まず)
耐用期間	5年あるいは30,000回「自己認証(自社データ)による」
電撃保護	内部電源機器 BF形装着部
外来固形物及び水の有害な浸入に対する保護の程度による分類	IP22 (指の侵入に対する保護。垂直より左右15°以内から落下する水滴に対する保護。)
空気・可燃性麻酔ガス、又は酸素又は亜酸化窒素・可燃性麻酔ガスのある中での使用の安全の程度による分類	空気・可燃性麻酔ガス、又は酸素又は亜酸化窒素・可燃性麻酔ガス中での使用に適しない機器
作動(運転)モードによる分類	連続作動(運転)機器

お断りなく仕様変更する場合がありますのでご了承ください。

試験方法は、ISO (国際標準化機構) 81060-2:2013 を参考としている。

本品は、「JIS T 1115:2018 非観血式電子血圧計」に適合している。

本品は、EMD 規格 (IEC60601-1-2:2014) に適合している。



CISPR クラス分類：クラス B グループ分類：グループ 1 に基づく。

[EMD について] (33 頁参照)。

精度 (圧力) については計量法に基づく。

本品は、1 気圧での使用を想定しています。

■本体図記号の意味

図記号	意味
	添付文書、取扱説明書を参照。
	BF 形装着部を持つ機器であることを示す。

EMD について

本品は、医用電気機器の安全使用のために要求されている EMD（電磁妨害）規格、IEC60601-1-2:2014 に適合している装置です。

医用電気機器は、電磁妨害に関する特別な注意が必要であり、以下の情報に従って使用される必要が有ります。

- 本品は、高周波手術機器や MRI 装置（磁気共鳴画像装置）の近傍など、電磁妨害の強さが高い環境での使用を意図していません。
- 本品を、他の機器に隣接させて、又は積み重ねて使用しないでください。不適切な動作の原因になります。
- 本品の製造者によって規定されているか、又は提供されるもの以外の付属品を使用すると、本品の電磁エミッションが増加するか、又は電磁イミュニティが減少し、不適切な動作の原因になる可能性があります。
- 本品の性能の低下の原因になる可能性があるため、携帯型の RF 通信機器（アンテナケーブル及び外部アンテナなどの周辺機器を含む）は、本品のどの様な部分からも 30cm 以上離して使用してください。

IEC60601-1-2 の詳細については、販売店にお問い合わせください。

保証書

此の度は、弊社の製品をお買上げ頂き有難うございました。

未永く御愛用の程、お願ひ致します。弊社は、下記の通り製品保証を致しておりますので、この保証書は大切に保管してください。

※お買上げ日	年 月 日
保証期間	お買上げ日より 1年間
※施設名	
氏名	
※住所	〒
※電話番号	
製品名	ワンハンド電子血圧計 KM-370Ⅲ
※販売店名 住所 TEL / FAX	

販売店様へ ※印の欄を必ず記入してからお渡し下さい。

保証規定

- 取扱説明書・本体貼付ラベル等の注意書にしたがった正常な使用状態で、お買上げ日より1年以内に故障した場合に無償修理致します。
- 無償修理期間内で次の場合には有償修理になります。
 - (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買上げ後の落下などによる故障および損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や電源の異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障および損傷。
 - (ニ) 本書の提示がない場合。
 - (ホ) 本書にお買上げ日、ご使用者名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (ヘ) 腕帯及び送気球等の消耗部品。
 - (ト) 故障の原因が本品以外に起因する場合。
 - (チ) その他取扱説明書(本書)に記載されていない使用方法による故障および損傷。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管して下さい。
- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様に法律上の権利を制限するものではありません。

発売元

ケンツメディコ株式会社

埼玉県本庄市児玉町共栄552番地1 〒367-0206
TEL(0495)71-1001 FAX(0495)72-6716
ホームページ <http://www.kenzmedico.co.jp>

※都合により仕様及び外観等を変更する場合があります。
予めご了承ください。

※許可なく複写、複製することを禁じます。

お問合せ先

製造販売業者：日本精密測器株式会社
群馬県渋川市中郷2508-13
製造業者：ケンツメディコ株式会社
蘇州尼世精密儀器有限公司
中華人民共和国

2022年7月改訂 A131872-1.4

認証番号：303AGBZX00023000